

書道Ⅰ 篆書を知ろう



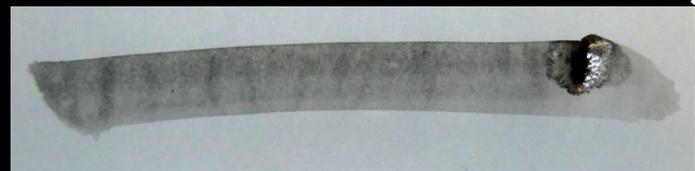
泰山刻石に学ぶ

楷書の「石」と
小篆の「石」を
比較しよう。

・線に注目して比較しよ

楷書

線に注目して比較しよ



小篆

線の太さが一定であ



藏鋒



○小篆を

書くときのルール

①

① 蔵鋒

② 線の太さは一定

③ 横画は水平、

縦画は垂

直

目標

線の太さを一定に書こう。

一時間目の授業の流れ

① 練習用紙を用いながら練習する。



② 練習したことを生かし、「不」という一字を臨書する。

自己評価をしよう。

授業を振り返り、
ワークシートに
記入しよう。

・時代背景

秦の始皇帝はそれ
まで七国に分裂して
いた国を次々と併合
し、紀元前二二一年
に春秋戦国と続いた
乱世を統一した。

・時代背景

そして、自ら王と

いう称号を改め、光り輝く、偉大なる意味の「**皇**」と天の

神の意味の「**帝**」を合わせ、「**皇**

帝」と称した。

始皇帝がはじめたこと

も
○封建制を廃止し、法を

行
とにした郡県制の施

○兵器の没収

○度量衡・貨幣の統一

○焚書坑儒

○万里の長城などの築造

○文字の統一



小篆が使用さ

れる。

その時に建てられたのが「泰山刻石」

秦時代（紀元前 2 19）

・ 建てられた理由
は・・・

始皇帝が**全国を統一**
し、その偉業を民衆
に示し、**後世に伝え**
るために建てられた。

書いたのは・・・

当時の丞相（総理大

臣）である

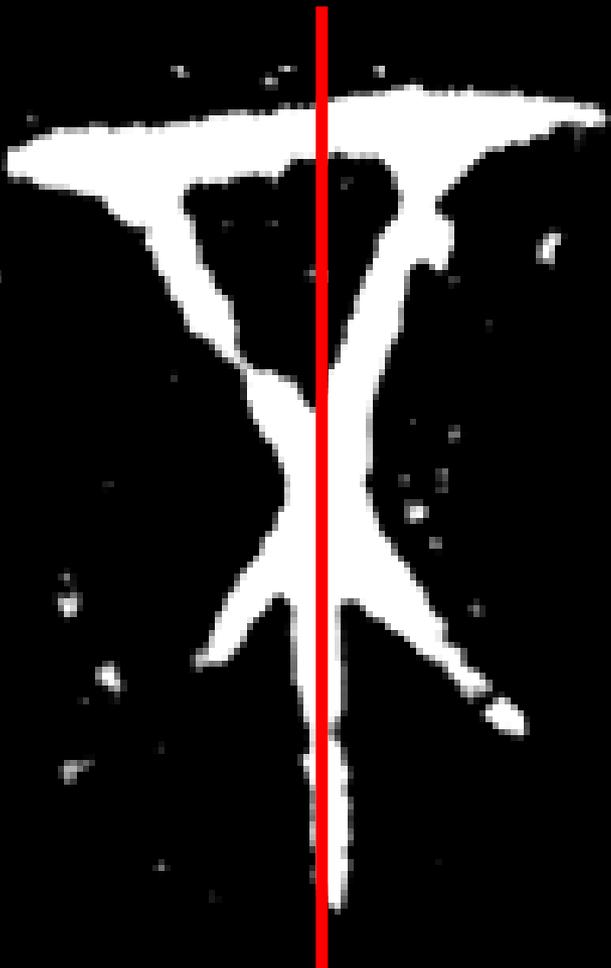
李斯

様々な制度を統一
することに携わった
人物。李斯の意見に
よって始皇帝の政治
は進められていた。

・字形に注目して

「金文」

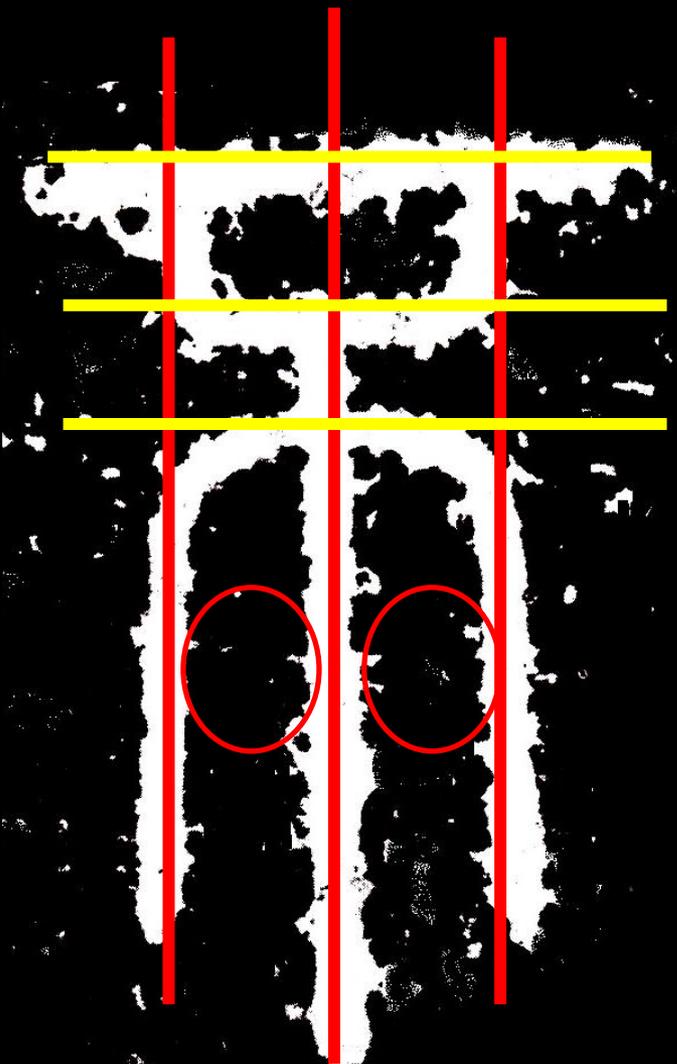
比較すると



「泰山刻石」



左右対称・分間が等しい



○小篆を

書くときのルール

②

①左右対称

②分間が等しい

● 「金」と「因」

を

臨書しよう。

● 半紙を横にして、半分
分に折り、紙面に大
きく書いていこう。

目標

字形に気をつけて書く。

自己評価をしよう。

授業を振り返り、
ワークシートで
自己評価をして
下さい。

後片付け

○ごみはゴミ箱
へ

○硯は拭きとる

○筆は一人一人

持ってくる